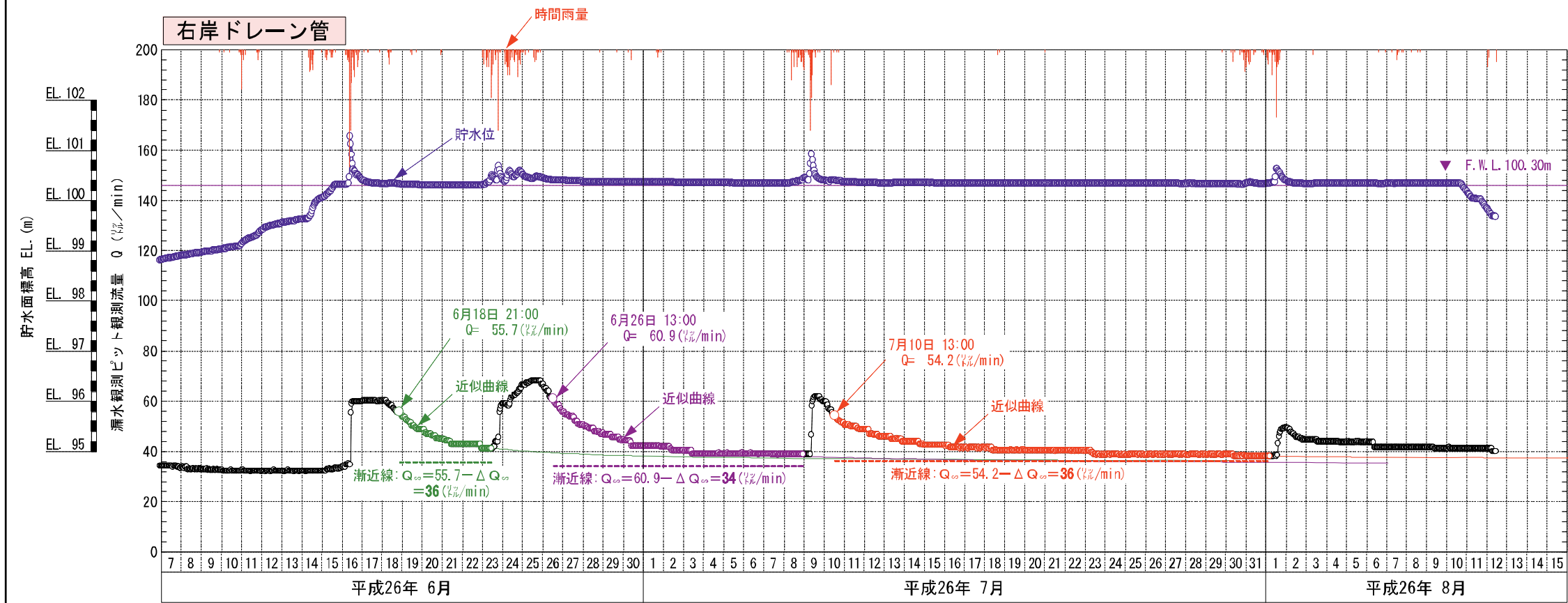


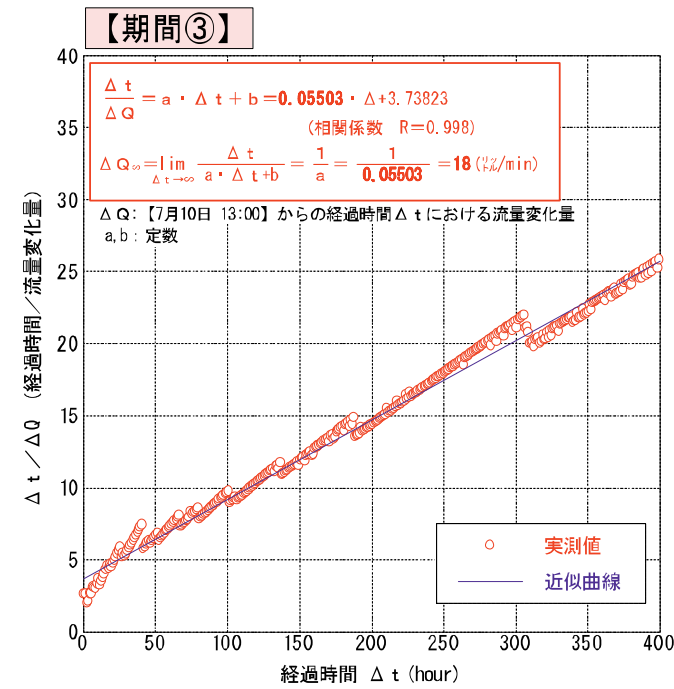
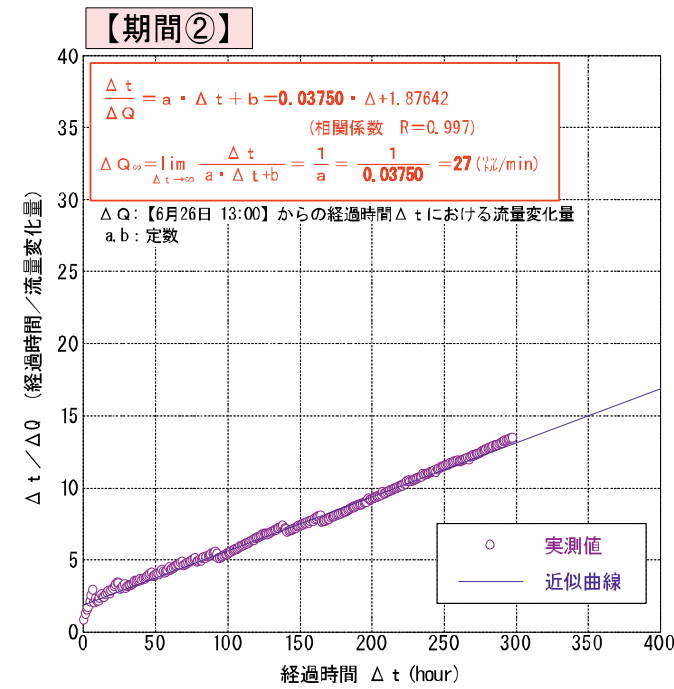
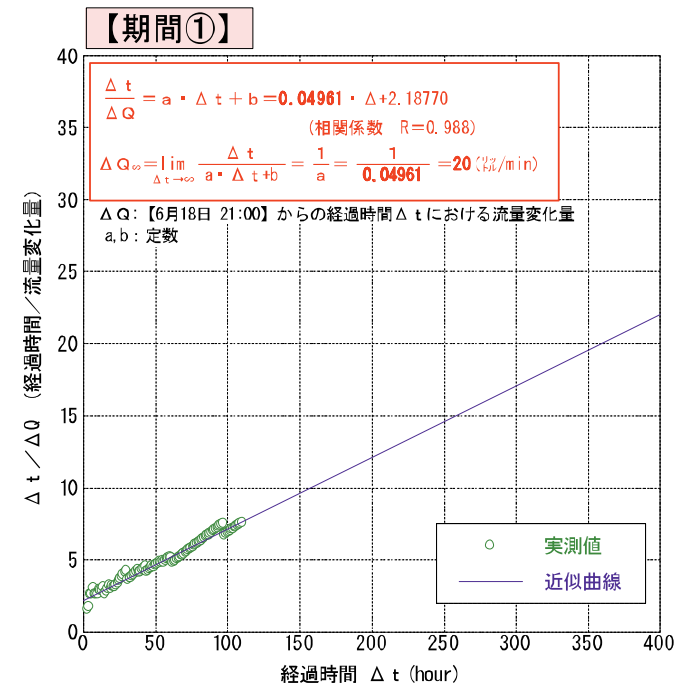
(参考) ロックフィルダムにおける浸透量管理基準の検討事例紹介

図表番号	図表名称
28	平成26年度(H27.1/8)ダム員会資料(7/9) 常時満水位における浸透流量目安値 (降雨の影響を排除)の検討(5/7)



常時満水位における貯水池浸透流量(降雨の影響を排除)の予測方法として、常時満水位保持期間であり、かつ降雨が停止した以降の浸透流量減少傾向から、貯水池浸透流量を予測した。

- ①: ある時刻からの経過時間 Δt と浸透流量の減少量 ΔQ の関係が双曲線関数で近似できると仮定し、経過時間を無限大にした場合の浸透流量減少量の漸近値を求めた。
- ②: 本図中に示す河床地山ドレーン、および左岸ドレーン管においては、高い相関性で双曲線に近似されており、最終的には図中にそれぞれ[漸近線]として示す流量に収束することが予測される。
- ③: 【図表番号 85】の相関図中には、ここで推定された常時満水位における貯水池浸透流量(降雨の影響排除)を同水位条件における[目安値(基準)]とした。

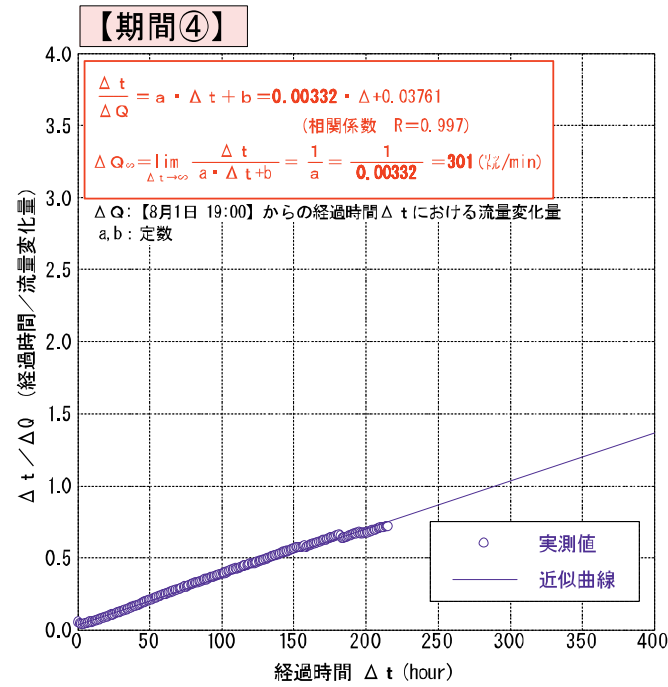
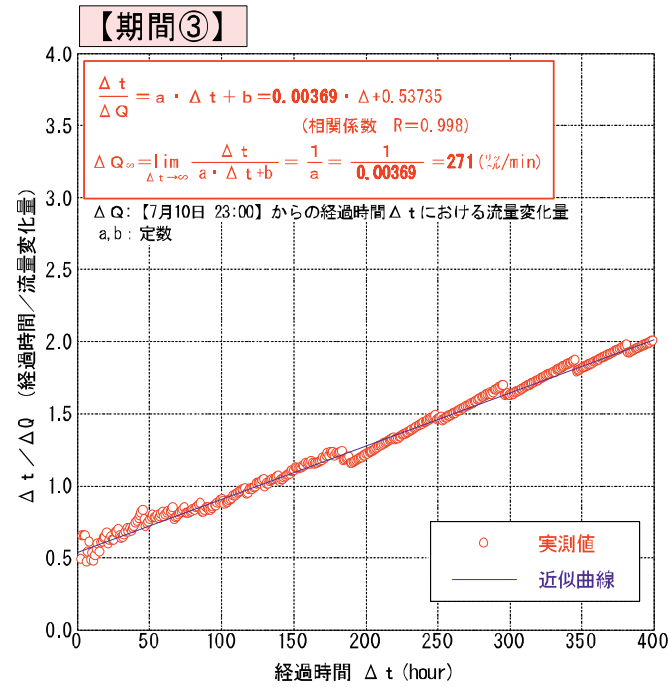
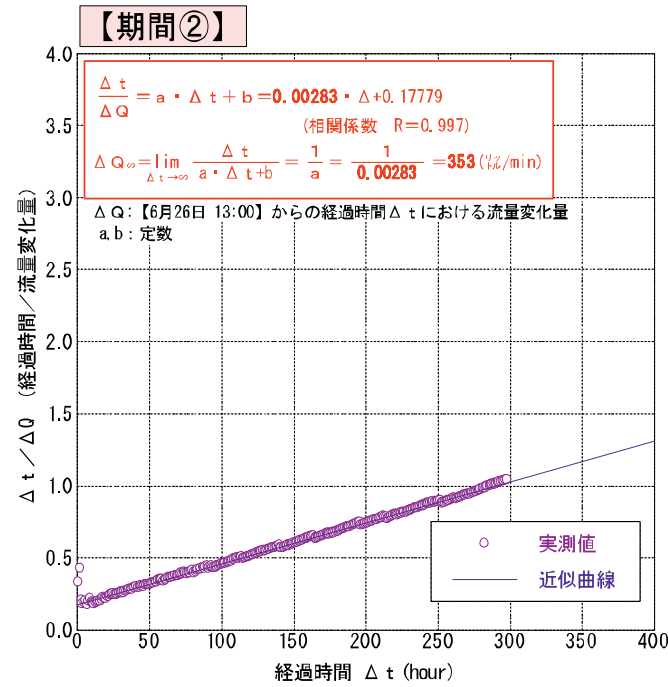
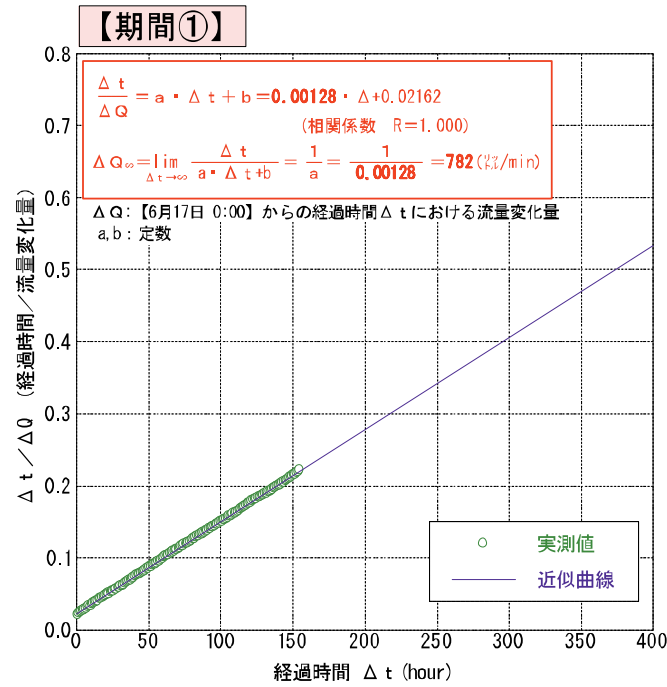
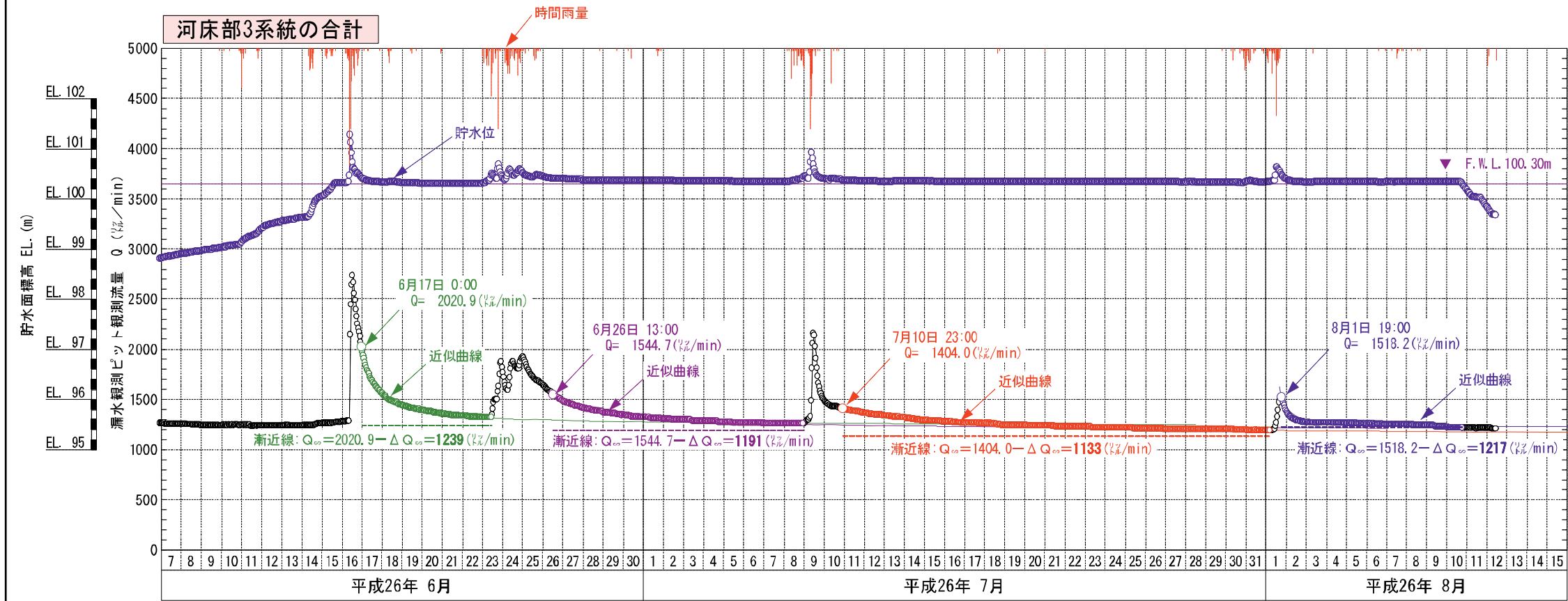


(参考) ロックフィルダムにおける浸透量管理基準の検討事例紹介

図表番号	図表名称
29	平成26年度(H27.1/8)ダム員会資料(8/9) 常時満水位における浸透流量目安値 (降雨の影響を排除)の検討(6/7)

常時満水位における貯水池浸透流量(降雨の影響を排除)の予測方法として、常時満水位保持期間であり、かつ降雨が停止した以降の浸透流量減少傾向から、貯水池浸透流量を予測した。

- ①: ある時刻からの経過時間 Δt と浸透流量の減少量 ΔQ の関係が双曲線関数で近似できると仮定し、経過時間を無限大にした場合の浸透流量減少量の漸近値を求めた。
- ②: 本図中に示す河床地山ドレーン、および左岸ドレーン管においては、高い相関性で双曲線に近似されており、最終的には図中にそれぞれ[漸近線]として示す流量に収束することが予測される。
- ③: 【図表番号 85】の相関図中には、ここで推定された常時満水位における貯水池浸透流量(降雨の影響排除)を同水位条件における[目安値(基準)]とした。



(参考) ロックフィルダムにおける浸透量管理基準の検討事例紹介

図表番号	図表名称
30	平成26年度(H27.1/8)ダム員会資料(9/9) 常時満水位における浸透流量目安値 (降雨の影響を排除)の検討(7/7)

常時満水位における貯水池浸透流量(降雨の影響を排除)の予測方法として、常時満水位保持期間であり、かつ降雨が停止した以降の浸透流量減少傾向から、貯水池浸透流量を予測した。

- ①: ある時刻からの経過時間 Δt と浸透流量の減少量 ΔQ の関係が双曲線関数で近似できると仮定し、経過時間を無限大にした場合の浸透流量減少量の漸近値を求めた。
- ②: 本図中に示す河床地山ドレン、および左岸ドレン管においては、高い相関性で双曲線に近似されており、最終的には図中にそれぞれ[漸近線]として示す流量に収束することが予測される。
- ③: 【図表番号 85】の相関図中には、ここで推定された常時満水位における貯水池浸透流量(降雨の影響排除)を同水位条件における[目安値(基準)]とした。

